

令和5年度国立国会図書館予算概算要求

(単位:百万円)

区 分	令和4年度 予 算 額 (当初)	令和5年度 要 求 額	比 較 増 △ 減 額
(組織) 国立国会図書館	20,243	20,073	△ 170
(項) 国立国会図書館	19,003	18,830	△ 173
国立国会図書館の運営に必要な経費	10,230	10,060	△ 170
うち人件費	10,052	9,881	△ 171
国立国会図書館業務に必要な経費	7,630	7,680	50
科学技術関係資料の収集整備に必要な経費	1,142	1,090	△ 52
(項) 国立国会図書館施設費	1,240	1,242	2
国立国会図書館施設整備に必要な経費	1,240	1,242	2

※端数処理のため、合計が合わないことがある。

[重点事項]

() は令和4年度予算額

1. 国会会議録検索システム等の更新 87百万円 (0)

国会会議録検索システム、帝国議会会議録検索システム等を更新する。議会情報へのアクセスの向上を図るため、更新後の帝国議会会議録検索システムにおいては、戦前期分(明治23年11月～昭和20年8月)の速記録について本文のテキストデータの検索・閲覧が可能な範囲を、令和6年度から順次拡大していく。

2. 視覚障害者等へのサービスの向上 105百万円 (55百万円)

「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」及び「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」に基づき、視覚障害者等へのサービスの向上のため、以下の2点に取り組む。

① 障害者用資料検索サービスの提供 50百万円 (0)

視覚障害者等がインターネットを利用して全国各地にあるアクセシブルな書籍等を円滑に利用できるようにするため、アクセシビリティの高い検索サービスを提供する。

② アクセシブルな電子書籍等の充実 55百万円 (55百万円)

従来の取組を継続し、視覚障害者等が利用しやすい高品質な電子書籍等を製作する。

3. 国内刊行図書のデジタル化 104百万円 (0)

1969年から2000年までに国内で刊行された図書約170万点のうち、約1万点のデジタル化を実施する。国内刊行図書約170万点については、一部のデジタル化が令和2年度補正予算(第3号)、令和3年度補正予算(第1号)に計上されたが、令和5年度にデジタル化を概算要求する資料群の他に約107万点がデジタル化されずに残る。国民のデジタルコンテンツの利活用に資するため、今後も機会を捉えてデジタル化を推進する。

[主な要求内容] 下線の項目が重点事項

(単位：百万円)

区 分	令和4年度 予 算 額 (当初)	令和5年度 要 求 額	比 較 増 △ 減 額	備 考
1. 国会サービス経費	287	338	51	国会会議録検索システム等の更新等
2. 資料費・デジタル化経費	2,527	2,527	0	
(1) 国内刊行図書のデジタル化	-	104	104	
(2) その他(外国雑誌等の購入等、学術雑誌等のデジタル化)	2,527	2,423	△ 104	外国雑誌等の購入経費の減等
3. 情報システム経費	3,131	3,067	△ 64	
(1) サービス・業務統合システムの運用等	1,063	1,276	213	図書館サービス・業務の基幹的システムの運用経費、障害者用資料検索サービスの提供等
(2) デジタル・アーカイブシステムの運用	847	733	△ 114	個人送信対応のための改修(令和4年度)の減等
(3) サービス基盤ネットワークシステムの運用	790	647	△ 143	機器更新経費(令和4年度)の減等
(4) その他(データ入力経費等)	431	412	△ 19	
4. 図書館業務経費	1,768	1,778	10	
5. 国際子ども図書館業務経費	262	262	0	
6. 関西館業務経費	977	977	0	
(1) アクセシブルな電子書籍等の充実	55	55	0	学術文献の視覚障害者等向け録音図書、テキストデータの製作等
(2) その他	922	922	0	
7. 人件費	10,052	9,881	△ 171	
8. 施設整備に必要な経費	1,240	1,242	2	
(1) 東京本館庁舎整備	689	998	309	東京本館書庫入退室管理設備改修工事、東京本館本館書庫棟エレベーター改修工事、東京本館施設老朽化対策に必要な調査等
(2) 関西館庁舎整備	490	244	△ 246	関西館本館中央監視リモートユニット更新工事等
(3) 国際子ども図書館庁舎整備	61	0	△ 61	

※端数処理のため、合計が合わないことがある。